

# 進路通信

～働く人になるために～



(第4号)

県立阪神昆陽特別支援学校  
進路指導部  
令和元年12月24日発行

令和元年がもうすぐ終わろうとしています。

1・2年生は11月に実習がありました。1年生は初めて校外で実習をしました。いろいろと経験できたのではないかと思います。2年生は卒業後の進路を見据えて実習をし、実習後は、今までに比べてより真剣に授業に取り組む様子が見られるようになりました。3年生はそれぞれが結合実習や内定実習に取り組み、卒業に向けこれからいよいよ集大成の時期になります。日頃から家の手伝いなどをして、将来に活かせるようにしてもらいたいと思います。



今回の進路通信は、「就労継続支援B型」についての話と、1・2年生の11月の職業体験実習の報告です。



## 「就労継続支援B型」とは

就労継続支援B型は、福祉就労です。障害や体調に合わせて自分のペースで働けることが特徴です。一般就労や就労継続支援A型での雇用型勤務に移行する前に、就労に慣れるといった段階を踏むことができます。兵庫県の賃金は、平均約1万4千円/月（平成30年度）ほどです。利用期間の制限もありません。

作業内容は事業所によって違います。パンやクッキーなどの製菓の製造、木工製品作り、チラシの封入、清掃、簡単な部品作り、刺繍などの手工芸、農作業など様々です。

作業内容や事業所の雰囲気など、自分に合った事業所を選ぶことが大切です。見学や体験利用ができますので、入所を希望する場合は、調べておくほうがいいと思います。



## 1年生 後期職業体験週間

12か所の企業や事業所で、3～5人のグループに分かれて実習に取り組みました。初めての校外実習のため、生徒たちは実習に近づくにつれ緊張感や不安感が高まってきていました。それでも事前学習を通じて、準備を重ねながら、実習初日を迎えることができました。校内実習とは違った緊張感のなかで不安なこともあったと思いますが、それぞれが各企業や事業所で自分なりに取り組めたようで、週明けには充実した表情で登校してくれていました。4日間の実習を振り返り、1人1人に良かった事や反省しなければならない事があったと思います。2年生になると、1人で2週間の実習になります。さらに厳しい実習になりますが、今回の実習での学びや日々の積み重ねを大切にして、将来にむけて力をつけていって欲しいと思います。



## 2年生 後期職業体験週間 現場実習

1人で行く実習も今回で2回目となり、前回よりも少し余裕が感じられた9日間でした。前回とは違う職場、職種へのチャレンジであり、将来の自分の進路を考える上でも非常に貴重な体験の一つです。実習明けには、どの生徒もどこかホッとしたような、でも充実感に満ちた表情を見せてくれました。実習後の感想では「できる仕事が増えていくのが嬉しかった」「自分なりに目標を達成できたと思う」「分からないことがあったのに聞けなかった」「集中力に欠けるという自分の課題が分かった」など、今後の成長をさらに期待させてくれる頼もしいコメントがたくさん聞かれました。

反省会では、実習先の方から残りの1年間で努力してほしい点について、厳しくも温かいご指摘をいただいたことと思います。まだまだ未熟なところは誰にでもあります。それだけ成長できるということです。自分の持っている力を、これからも存分に伸ばして行ってほしいと思います。今回の実習でできたこと、できなかったことをしっかりと振り返り、今後の学校生活、そして来年度の進路選択に生かしていきましょう。

